1頁 令和 3年 8月18日 14時11分57秒

令和 2年度 2 次評価 評価年度 進捗区分

所属長名 早川 一徳 所属 0001353010 建築課市営住宅係 担当者 磯貝 洋之 事務事業 02783 電話番号 0566-71-2240 市営住宅管理事業

【基本情報】

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	002 4都市基盤(住	環境)			
施策の方針	004 市営住宅の更新				
事務事業	001 市営住宅管理事	業			
			T		
事業期間	昭和23年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	公営住宅法、安城市市営住	宅の設置及び管理に	関する条例ほか		
備考					

【重举分析】

【 事業分析 】	
対象	住宅に困窮する低額所得者に対し
目的	低廉な家賃で、整備された住宅を供給します。
手段	住宅管理のための保守、点検及び修繕を行います。 市営住宅の家賃の決定及び徴収並びに空家募集を行います。家賃の決定は、毎年、入居者からの収入申告に基づ き行います。高額所得者に対し、早期退居を促します。 毎月、家賃滞納者に納付指導を行います。
事務内容	市営住宅の管理事務、家賃改定事務、収入認定事務、家賃滞納整理事務、高額所得者対策事務など

【コスト】 (単位:千円)

	平成31年度		令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		122,520	122,224	99,309
事	業費	96,375	95,764	70,929
	国庫支出金	5,481	11,650	8,998
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	90,893	84,114	61,931
	一般財源	1	0	0
人	件費計	26,145	26,460	28,380
	正規(人)	4.15	4.20	4.30
その他	L !経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	外部改修工事(新田 北住宅B棟) 外部改修工事設計委 託(小根住宅) その他修繕	外部改修工事(小根 住宅) 外部改修工事設計委 託(門原住宅) その他修繕	浄化槽改修工事(門 原) その他修繕

100.00

100.00

平成31年度

令和 2年度

100.00

100.00

2頁 令和 3年 8月18日 14時11分57秒

100.00

0.00

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

単位

%

所属 0001353010 建築課市営住宅係 事務事業 02783 市営住宅管理事業

指標名

【定量評価】

修繕実施率

上段:目標値 下段:実績値 令和 3年度

高額所得者の退去率	%	100.00 100.00 100.00	100.00
· 京林·新/年】			
<u>【定性評価】</u> カテゴリ	 評価の観点	基準	ランク
が要性 が要性 1	国・県・民間等との補完性	国・県・民間等がサービスを行っていない      国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある     国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
	 県営住宅が同等のサービス		
	宗昌性もが向寺のサービン 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	人居希望者がゼロになって ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
有効性	目標に対する進捗状況	1       目標を上回る又は目標どおりの進捗である         2       目標を下回る進捗状況である         3       進捗はかなり遅れている	1
 理由		▗▎  ▗▎ ゔ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	
世 効率性 4	事業の効率化・事業費の削減	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている   事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる   3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
	長寿命化計画及7%施設保2		
公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
 理由	 供給戸数割合は、他市とb		
1次評価結果】	1		
『業の方向性	較的小規模な修繕をこまめ	望的かつ計画的に大規模な修繕を実施するとともに、各住宅の定期点検を行いな かにして市営住宅の維持管理に努めます。また、「安城市市営住宅管理事業基本 収修の実施に向けて調整を図ります。	
1 次コメント			

#### 【 2 次評価結果】

(400文字)

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント	
(400文字)	

3頁 令和 3年 8月18日 14時11分58秒

令和 2年度 2 次評価 評価年度 進捗区分

所属 0001353010 建築課市営住宅係 事務事業 02785 市営住宅建設事業

所属長名 早川 一徳 担当者 磯貝 洋之 電話番号 0566-71-2240

【基本情報】

【空中月刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	002 4都市基盤(住	環境)			
施策の方針	004 市営住宅の更新	Ť			
事務事業	003 市営住宅建設事	業			
事業期間	平成27年度 ~ 令和 6年度	10 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市市営住宅及び共同施	設の整備基準を定め	る条例ほか		
備考					

【事業分析】

1 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	
対象	住宅に困窮する低額所得者が、
目的	老朽住宅の建替により、良好な住環境が整備された市営住宅に居住することができる。
手段	整備基準に基づいて、老朽化した市営住宅の建替えを行います。
事務内容	画地測量事務、既存入居者移転事務、工事に伴う各種調整事務など

【コスト	-]			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータル	レコスト	5,605	32,710	388,811
事業	費	250	21,370	377,591
	国庫支出金	67	6,142	185,500
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	185,000
	その他	0	0	0
	一般財源	183	15,228	7,091
人作	<b>‡費計</b>	5,355	11,340	11,220
	正規(人)	0.85	1.80	1.70
その他約	<b>经費</b>	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	井杭山住宅第1期解 体工事 井杭山住宅入居者仮 移転	井杭山住宅第1期解 体工事 井杭山住宅入居者仮 移転	井杭山住宅本体建設 工事

4 頁 令和 3年 8月18日 14時11分58秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001353010 建築課市営住宅係 事務事業 02785 市営住宅建設事業

争扬争亲 02765 问宫性七建战争亲 【定量評価】 上段:目標值 下段:実績值

T/CITION TO THE TOTAL TOTAL TO THE TOTAL TOTAL TO THE TOTAL TOTAL TO THE TOTAL				
指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
建替事業の進捗率	%	5.00	6.10	32.00
	70	4.64	6.09	0.00

【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 ランク 基準 必要性 国・県・民間等との補 <u>国・県・民間等がサービスを行っていない</u> 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 1 既存住宅の老朽化により建替えが必要です。 理由 必要性 市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である 2 市営住宅への入居希望者がゼロになっていません。 理由 有効性 目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている 3 予定通り進捗しています。 理由 事業の効率化・事業費 効率性 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている の削減 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない 3 4 理由 事業手法の再検討を基に効果的に実施しています。 事業規模・サービス水 公平性 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。 3 5 他自治体においても老朽化した住宅の建替を計画実施しています。 理由

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
	昨年度、住宅解体を予定通り実施しました。令和3年度、4年度と計画通り建築工事を実施します。
   1 次コメント	
(400文字)	

【 2 次評価結果】

E - O'CHI IMMENICA	
事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

1頁 令和 3年 8月18日 14時13分10秒

令和 2年度 2 次評価 評価年度 進捗区分

所属長名 早川 一徳 岡田 和也 所属 0001353020 建築課建築指導係 担当者 事務事業 02786 電話番号 0566-71-2241 建築指導事務

【基本情報】

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	001 3環境				
施策の方針	003 自然と共生する	良好な生活環境の確	<b>E</b> 保		
事務事業	008 建築指導事務				
		ı	T		
事業期間	昭和58年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	建築基準法、長期優良住宅	の普及の促進に関す	る法律ほか		
	平成28年度の事務事業の	見直しにより、平成	29年度から以下の事業を	統合しています。	
	・建築指導事務 ・建築物	バリアフリー進達事	蒋子 ・建設リサイクル法属	出事務 ・アスベス	ト対策費補助事業
	・多世代住宅補助金交付事	務			
   備考					

【事業分析】	
対象	長期にわたり市民が
目的	安全に安心して生活できるようになります。
手段	建築物を築造するにあたり、構造・設備などに関する選定基準を審査し、築造後の検査を実施します。 長期にわたり良好な状態で使用するための措置がその構造及び設備について講じられた優良な住宅の普及を促進 するため、当該認定を受けた計画に基づき建築及び維持保全が行われれている住宅等を評価します。
事務内容	建築基準法に基づき、建築物に関する審査・検査を行います。 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき、長期優良住宅の認定を行います。 都市の低炭素の促進に基づき、低炭素建築物認定を行います。 多世代住宅の促進のため、補助金を交付します。

【コス	<b> -</b>			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		27,673	68,394	47,676
事	業費	15,073	55,794	34,476
	国庫支出金	889	0	1,150
	県支出金	433	22	473
	地方債	0	0	0
	その他	8,495	12,498	7,870
	一般財源	5,256	43,274	24,983
人	件費計	12,600	12,600	13,200
	正規(人)	2.00	2.00	2.00
その他	2.経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	建築確認申請の審査	建築確認申請の審査	建築確認申請の審査
	民間機関審査物件を	民間機関審査物件を	民間機関審査物件を
	処理	処理	処理
	長期優良住宅の受付	長期優良住宅の受付	長期優良住宅の受付
	認定	認定	認定
	多世代住宅補助金の	多世代住宅補助金の	多世代住宅補助金の
	交付事務	交付事務	交付事務

2頁 14時13分10秒

2 次評価 評価年度 令和 2年度 進捗区分

所属 0001353020 建築課建築指導係 事務事業 02786 建築指導事務

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

大工工					
指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度	
建築確認申請の審査		25.00	25.00	15.00	
	件	16.00	11.00	0.00	
 長期優良住宅の受付認		10.00	11.00	0.00	
定	件	200.00	200.00	200.00	
~	''	269.00	233.00	0.00	
多世代住宅補助金の交		40.00	80.00	80.00	
付	件	21.00	101.00	0.00	
		21.00	101.00	0.00	
【定性評価】					
カテゴリ	評価の観点		基準	ランク	
必要性	国・県・民間等との補	1 国・県・民間等がサ			

【定性評価】		1	
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	
	元1生	2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	<b>7</b>
1		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
'			
理由	全ての世代が安心して生活	するための施策を実施しました。	
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	1
2		3 市民ニーズはない又は不明である	Ť
<b>4</b>			
理由	新築住宅のニーズが多い地	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	1
3		3 進捗はかなり遅れている	Ť
3			
	順調に推移しています。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	事業の効率化・事業費	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	
	の削減	2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	•
4		S SAN S AN OFFICE A SAN SAN SAN SAN SAN SAN SAN SAN SAN S	_
	押印省略等の見直しを実施	記しました。	
公平性	事業規模・サービス水	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	
	準	2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	A
_		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5		The state of the s	
	書類の郵送受付等を実施し		
	日本の野足入口ので大地の	, 5, 5, 12,	

#### 【1次評価結果】

E · OCH   IMMEDICE	
事業の方向性	維持・継続
	申請された建築物等について、建築基準法を遵守し厳正に審査・検査を行い、安全・安心なまちづくりの形成を 目指します。また、子どもから高齢者までの世代が安心して暮らせる社会が実現することを目的として多世代住 宅のための建築等を推進します。
1次コメント (400文字)	

### 

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント	
(400文字)	

3頁 令和 3年 8月18日 14時13分10秒

令和 2年度 進捗区分 2次評価 評価年度

所属長名 早川 一徳 所属 0001353020 建築課建築指導係 担当者 岡田 和也 事務事業 02787 電話番号 0566-71-2241 住宅耐震対策補助事業

【基本情報】

【空中用刊】					
計画次数	02 第8次安城市総合計画				
5 Kの分類	004 きずな				
項目(施策)	001 11防災・減災				
施策の方針	005 11防災・減災	対策の普及促進			
事務事業	001 住宅耐震対策補	助事業			
事業期間	平成20年度 ~ 令和 2年度	13 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に	関する法律			
	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。				
	・住宅耐震診断補助事業	・住宅耐震改修補助	]事業		
↓ │備考					

【事業分析】	
対象	耐震結果で倒壊の可能性があると判定された住宅の所有者が
目的	耐震改修して、倒壊しない住宅に改修します。
手段	昭和56年5月31日以前に着工された倒壊の可能性がある木造・非木造住宅を耐震改修して、倒壊しない住宅にする際の改修工事申請書を受け付けます。 窓口及び電話等で耐震改修の相談を受け付けます。 耐震改修計画図等の図書を審査します。
事務内容	昭和56年5月31日以前に着工された倒壊の可能性がある木造・非木造住宅を耐震改修して、倒壊しない住宅にする際の改修工事費を補助します。 窓口及び電話等で耐震改修の相談を受け付けます。 耐震改修計画図等の図書を審査します。

	スト】			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		48,798	38,191	95,814
1	事業費	36,198	25,591	82,614
	国庫支出金	13,931	10,300	35,690
	県支出金	7,291	4,296	13,717
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	14,976	10,995	33,207
	人件費計	12,600	12,600	13,200
	正規(人)	2.00	2.00	2.00
その	他経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	木造住宅耐震診断の 受付審査 木造住宅耐震改修の 受付審査(一般型) 緊急輸送断の受付審査 物耐急輸送的の過程等 物耐震等輸送の沿づ建築 物耐震改修の受付審査 切付事審費 補助金の受付審査	木造住宅耐震診断の 受付審査 受付審査(四級型) 受付審査(一般型) 緊急輸送断の受道建築 物耐震輸送断の受道建築 物耐震輸送路路分過達審査 物耐震改修の受付建審査 物耐震の受付審査 補助金の受付審査	木造住宅耐震診断の 受付審査 大造住宅耐震と修の 受付審査(を配との) 緊急輸送路の受治道審 物耐震診断送の受治道審察 物耐震。 物耐震。 でのでは審査 では、 でのできる。 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのできる。 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでは、 でのでのでは、 でのでのでのでは、 でのでのでででして、 でのでのでして、 でのででして、 でのでのでして、 でのでのででして、 でのでのでしで、 でのででしでして、 でのでしでしでして、 でのでしでしででして、 でのでしでしでしでして、 でのでしでしでしでし。 でのでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしでしで

4頁 14時13分10秒

令和 2年度 評価年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001353020 建築課建築指導係 事務事業 02787 住宅耐震対策補助事業

【定量評価】

上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
木造住宅耐震診断の受 付審査 - 付審査	件	150.00 115.00	150.00 61.00	150.00 0.00
木造住宅耐震改修の受   付審査(一般型) 	件	20.00 19.00	20.00 7.00	30.00 0.00
緊急輸送路沿道建築物 耐震診断の受付審査	件	4.00 0.00	4.00 3.00	4.00 0.00
ブロック塀等撤去費補 助金の受付審査	件	80.00 84.00	80.00 35.00	80.00 0.00

【定性評価】			
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	申請者が市へ補助金申請を		
必要性 2	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	地震による被害を最小限に		
有効性	目標に対する進捗状況	1       目標を上回る又は目標どおりの進捗である         2       目標を下回る進捗状況である         3       進捗はかなり遅れている	2
理由	啓発を実施しましたが、申	請数が伸び悩みました。	
効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	補助金が利用しやすいよう		
<u>公平性</u> 5	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由 【 1 次評価結果】	補助金の上乗せ等を実施し	ています。	

	1 人計測約未 1	
1	事業の方向性	拡充
		この地域は、大規模地震の危険性の高い地域となっており、速やかな地震防災対策の推進が望まれています。 このような背景のもと、地震による被害を減らす対策として住宅の耐震化が重要となっています。令和 2 年度は 補助金申請件数が伸び悩んだことから、令和 3 年度は市内工事業者の施工の場合には、補助金額を加算し、住宅 耐震対策補助事業の促進に努めてまいります。

#### 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

5頁 令和 3年 8月18日 14時13分10秒

令和 2年度 2 次評価 評価年度 進捗区分

所属長名 早川 一徳 所属 0001353020 建築課建築指導係 担当者 岡田 和也 事務事業 電話番号 0566-71-2241 02998 空き家対策事業

【基本情報】

【空中用刊】					
計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	002 4都市基盤(住				
施策の方針	005 空き家等対策の	 実施			
事務事業	001 空き家対策事業				
事業期間	平成28年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	空家等対策の推進に関する	特別措置法			
備考					

【事業分析】

<u>【争耒万例】</u>	
対象	近年、社会ニーズの変化及び産業構造の変化により発生した空き家のうち、適正な管理が行われていない空き家 を、
目的	「安城市空家等対策計画」に基づき、解消させます。
手段	空家等対策協議会を開催し、問題のある空き家対策を協議します。 問題のある空き家の現況調査を実施します。 危険な空き家の除却費補助申請を受け付けます。
事務内容	空家等対策協議会を開催し、問題のある空き家対策を実施します。 問題のある空き家の現況調査を実施し、管理がされていない空き家の所有者に対し指導します。 危険な空き家の除却費の一部を補助します。

【コス	<b>-</b> ]			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータ	'ルコスト	18,694	14,105	23,307
事	業費	12,394	1,505	10,107
	国庫支出金	0	100	500
	県支出金	0	50	250
	地方債	0	0	0
	その他	0	1,355	0
	一般財源	12,394	0	9,357
人	件費計	6,300	12,600	13,200
	正規(人)	1.00	2.00	2.00
その他	  経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	協議会の開催 問題のある空き家を 105件にする 除却補助の実施	協議会の開催 問題のある空き家を 前年度実績より減少さ せる 除却補助の実施	協議会の開催 特定空家等の解消 除却補助の実施

6頁 14時13分10秒

令和 2年度 2 次評価 評価年度 進捗区分

所属 0001353020 建築課建築指導係 事務事業 02998 空き家対策事業

【定量評価】

上段:目標值 下段:実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
空家対策協議会の開催		2.00	2.00	2.00
	回	1.00	1.00	0.00
問題のある空き家件数	件	105.00	97.00	90.00
	"	93.00	89.00	0.00
除却費補助件数	件	5.00	5.00	5.00
	11	0.00	1.00	0.00

【定性評価】			
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	問題のある空き家への対応		
必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
	空き家が増加しています。		
有効性	目標に対する進捗状況	1       目標を上回る又は目標どおりの進捗である         2       目標を下回る進捗状況である         3       進捗はかなり遅れている	1
理由	予定どおり進捗しています。		
効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	1
理由	空き家の削減に向けて相談		
公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	特定空家等に対して指導等	を行なっています。	

#### 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続	
	空き家は今後も増加することが考えられるため、引き続き事業の進捗に努めます。	
1 次コメント		
(400文字)		

### 【 2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
	本事業においては、2次評価を実施していません。
2 次コメント	
(400文字)	

1頁 令和 3年 8月18日 14時14分23秒

令和 2年度 2 次評価 評価年度 進捗区分

所属長名 早川 一徳 所属 0001353030 建築課開発指導係 担当者 稲垣 央 事務事業 02788 電話番号 0566-71-2241 開発指導事務

【基本情報】

計画次数	02 第8次安城市総	合計画			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	002 4都市基盤(住	環境)			
施策の方針	002 人がふれあうま	ちの形成			
事務事業	017 開発指導事務				
事業期間	昭和59年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	都市計画法、建築基準法、	愛知県開発審査会祭	例、安城市道路位置指定要	長綱 二十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	
備考	平成28年度の事務事業の ・開発指導事務 ・開発審			<b>を統合しています。</b>	
【事業分析】					
対象					
目的					
手段					

都市計画法に基づく開発許可及び建築許可の許認可事務

【コス	<b>-</b> ]			(単位:千円)
		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		19,954	19,883	20,944
事	業費	109	38	154
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	109	38	154
	一般財源	0	0	0
人1	件費計	19,845	19,845	20,790
	正規(人)	3.15	3.15	3.15
その他	経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	開発許可26件	開発許可約21件	開発許可約30件
	開発変更許可2件	開発変更許可約7件	開発変更許可約5件
	建築許可240件	建築許可約241件	建築許可約300件

事務内容

2頁 14時14分23秒

評価年度 令和 2年度 2 次評価 進捗区分

所属 0001353030 建築課開発指導係

	務事業 5 号並使 <b>1</b>	02788	開発指導事務				LEA. Di	原体 工机,安结体
	<u> </u>	指標名	単位		平成31年度	令和 2年度		票値 下段:実績値 和 3年度
	と性評価】		<b> </b>					
	I	カテゴリ	評価の観点		1	基準		ランク
1	必要性		国・県・民間等との 完性	D補 1 2 3	国・県・民間等のサ	ービスを行っていない ービスは不十分で、市で補完す 様のサービスを行っている	る必要がある	1
	 理由		 安城市に事務委任さ	 されています。				
	必要性		市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分に	ある		
				2		より市民ニーズは低下している		1
2				3	市民ニーズはない又	は小明である		I
	 理由		法定事務です。					
	有効性		目標に対する進捗が	忧 1	目標を上回る又は目	標どおりの進捗である		
				2	目標を下回る進捗状			
3				3	進捗はかなり遅れて	113		
				-				
	 理由				-1			
	効率性		事業の効率化・事業	費 1	事業手法の検討や事	務改善に取り組み、具体的な成	果を上げている	
			の削減	2	事業手法の検討や事	務改善に取り組んでいる		1
4				3	事業手法の検討や事	務改善にあまり取り組めていな	61	
								•
	 理由			L んい 適正かつ	⊥ 迅速な業務を実施して			
	公平性		事業規模・サービス			<u> </u>		
			準	2		等と比較してあまり適正でない。	,	1
5				3	環境変化や他自治体	等と比較して適正でない。		
								•
	 理由		おおけ画はも愛知順	 ■開発案本会其	ー 準により公平に審査し	. <b>て</b> います		
Γ.	<u>                                     </u>	吉果】	一川田田四八 でを入れる	<b>、一角元廿旦云至</b>	+によりムーに毎旦し	7 CV 1 & 9 .		
	業の方向性		維持・継続					
			無秩序な市街化及び	「開発行為を防	止し、都市の健全な発	展と秩序ある整備を図るため、	県より事務委任る	されてい
			る法定事務です。		`\ <b>`\</b> \`\\			
۱ <sub>1</sub> ,	欠コメンI	<b>L</b>	公平で週上な業務を	:実施するため、	、法改正等に注意を払	います。		
	スコグフロ 400文字							
<b> </b> `		. ,						
Ļ	\ \h-=\\\\\	+						
	2 次評価紹 業の方向性		評価未実施					1
#	表い刀門!!	<u> </u>	本事業においては、	2 次評価を実	施していません。			
			1.5%1000.018	IIII C.X.				
	欠コメント							
(	400文字	字)						

### 事務事業評価シート(1/2) 🗼 🚓 अ 🛊 8月 18日

3頁 14時14分23秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001353030 建築課開発指導係

所属長名 早川 一徳 担当者 稲垣 央

事務事業 02789 住	<b>宅地開発協議会事務</b>		電話番号	0566-71-2241	
【基本情報】					
計画次数	02 第8次安城市総	画信合総			
5 Kの分類	002 環境				
項目(施策)	002 4 都市基盤(住	E環境 )			
施策の方針	002 人がふれあうま	ちの形成			
事務事業	018 住宅地開発協議	<b>会事務</b>			
事業期間	平成28年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市住宅開発事業の手続	<b>誇に関する条例</b>			
	平成28年4月1日より条件	例化されています。	•		
↓ ┃備考					
【事業分析】					
対象					
713/					
目的					
===					

概要書受付、近隣住民への説明実施及び公共施設に関する協議の確認、住宅開発協議会の開催(100戸又は1 事務内容 ha以上)、事業計画への同意 【コスト】 (単位:千円)

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		5,040	5,040	5,280
事	<b>業費</b>	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
人	牛費計	5,040	5,040	5,280
	正規(人)	0.80	0.80	0.80
その他	経費	0	0	0

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	住宅地開発事業 2 件集合住宅開発事業 8 件	住宅地開発事業 1 件集合住宅開発事業 4 件	住宅地開発事業約5件 集合住宅開発事業約1 0件

手段

### 事務事業評価シート(2/2) 🔩 🚓 3年 8月18日

4頁 14時14分23秒

評価年度 令和 2年度 2 次評価 進捗区分

所属 0001353030 建築課開発指導係

	務事業 02789 住写 E量評価】	宅地開発協議会事務				上段:目≭	票値 下段:実績値
Ĺ	指標名	単位		平成31年度	令和 2年度		和 3年度
[ ]	<u> </u>	証価の知上	_		甘华		=>./2
	<u>カテコリー</u> 必要性	評価の観点 国・県・民間等との補	1	日、旧、兄問竿がせ	基準 -ビスを行っていない		ランク
	必安任	国・県・民間等との補完性	2		<u>- ビスを行うでいない</u> - ビスは不十分で、市で補完す。	 る必要がある	A
1			3		様のサービスを行っている		ĭ
'							
	理由	市条例に基づく事務事業で 市民ニーズの有無		H-D	+ ->		
	必安注	中氏ニー人の行無	2	市民ニーズは充分に対会情勢の変化等に	<u>かる</u> より市民ニーズは低下している		4
_			3	市民ニーズはない又			1
2							
	理由	地域と調和のとれた快適な					
	有効性	目標に対する進捗状況	2		<u>標どおりの進捗である</u>		
			3	目標を下回る進捗状況			
3				に が は が な が 注 化 で い	710		
	理由						
	効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1		<u>務改善に取り組み、具体的な成</u>	果を上げている	
		איווניהן כט	3		務改善に取り組んでいる 務改善にあまり取り組めていな!		1
4			3	事業士法の快討や事件	<b>防以書にのより取り組めている</b>	, 1	
							_
	理由	事業者や近隣住民の動向を	<u>・</u> を確認し、	適正かつ迅速に進め	ます。		
	公平性	事業規模・サービス水 準	1		等と比較して適正である。		
		华	2		等と比較してあまり適正でない。 ************************************	,	1
5			3	域現変化や他自治体	等と比較して適正でない。		
							-
		他自治体と比較して適正で	ー です。	1			
<u> </u>	1 次評価結果】						
事	業の方向性	維持・継続	- / - / · /	~	_ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		NV -
		近隣任民及ひ町内会等と同 対して適切な指導をします		糸を築き、地域と調札	のとれた快適な住環境を実現す	るため、任宅開	発事業に
		対して適切な拍导をしより	,				
1;	欠コメント						
	400文字)						
Ļ							
_	<u> </u>	評価未実施					
77.3	<u>~~~/J ─</u>   <u></u>	本事業においては、2次記	平価を実施	施していません。			
				-			
	欠コメント						
(	400文字)						
ı		1					

5頁 令和 3年 8月18日 14時14分23秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001353030 建築課開発指導係

事務事業

02790 優良宅地認定・優良住宅認定事務

所属長名早川 一徳担当者稲垣 央電話番号0566-71-2241

【基本情報】								
計画次数		次安城市総合計画		-				
5 Kの分類	002 環境	002 環境						
項目(施策)	002 4都	, ,						
施策の方針		「ふれあうまちの形成						
事務事業	019 優良	と宅地認定・優良住宅認定事務						
	-77							
事業期間	昭和59年度~							
実施方法	直営		1.00					
会計区分	一般会計	事業区分		<b>が</b>				
健幸事業	101×4+ 001+ 00 ×	マニフェスト	地方	5創生				
根拠法令等	租税特別措置法	、地万棿法						
備考								
 【事業分析】								
対象								
目的								
手段								
312								
事務内容	租税特別措置法	、地方税法に係る税の軽減を	受けるための認定をします。					
				( W.C T.II )				
【コスト】	I	 平成31年度	令和 2年度	(単位:千円) 令和 3年度				
	<u> </u>		文和 2年度 決算額	マかったほ				
トータルコスト				15 7 昇額 330				
事業費		0	3	0 0				
国庫支出金		0		0 0				
県支出金	+	0		0 0				
地方債		0		0 0				
その他		0		0 0				
一般財源		0		0 0				
人件費計		315	3	15 330				
正規(人)		0.05	0.					

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	申請 1 件	申請 0 件	申請見込み1件
【事務事業活動実績】			

0

0

0

その他経費

6 頁 令和 3年 8月18日 14時14分23秒

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001353030 建築課開発指導係

事務事業 02790 優良宅地認定・優良住宅認定事務

上段:目標值 下段:実績値 【定量評価】 指標名 単位 平成31年度 令和 2年度 令和 3年度 【定性評価】 カテゴリ 評価の観点 基準 ランク 必要性 国・県・民間等との補 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている 1 県より権限移譲された事務処理です 理由 必要性 市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である 2 コンスタントに申請がある事務ではありません。 理由 有効性 目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている 3 理由 事業の効率化・事業費 の削減 効率性 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない 3 4 理由 法改正等に注意を払い、適正かつ迅速な業務を実施しています。 事業規模・サービス水 公平性 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。 5 法定事務であるため、他自治体と同様です。 理由 【1次評価結果】 維持・継続 事業の方向性 申請件数が少ない事務ではありますが、法定事務であるため、法改正等に注意を払い、間違いがないよう慎重に 事務を行う必要があります。適正かつ迅速に審査ができるように、常に事務内容の把握をします。 1次コメント (400文字) 【2次評価結果】 事業の方向性 本事業においては、2次評価を実施していません。 2次コメント (400文字)